

今年度も県内各地で発掘調査開始！

発掘新聞

5月16日号

平成25年度第1号

編集・発行

九州歴史資料館

電話 0942-75-9575



ここは工事現場？ 知られざる発掘調査の裏側

下伊良原竹の内遺跡一区で稼働中の重機（ユンボ）
 〓当館撮影

当館では、先月より今年度の発掘調査を再開した。現在行っている調査現場は豊前市塔田琵琶田遺跡・上毛町皿山古墳群・同町榎町遺跡・みやこ町下伊良原竹の内遺跡・同町西の塚遺跡・同町庄屋屋敷跡・那珂川町尼寺跡遺跡の7つである。

発掘調査といえば、テレビなどであるような、ハケを使って細かく土器などを出していく姿を想像しがちだが、実際には工事現場のように重機や大型のトラックで土を運び出す作業もある。
 重機は、実際に手で掘る前に、遺跡の表土を取り除く作業に使われる。遺跡があると考えられる深さ近くになると、調査員は重機の横につきつきりになり、数cm単位で掘り下げを指示する。

重機のおペレーター腕はもろろんのこと、調査員の知識や経験、そして遺構を見抜く「目」が必要だ。
 時には大胆に、時には慎重に・・・大発見の裏にはこのような力量も大きく関係しているかもしれない！

今年度も遺跡発掘や整理の過程で見つけた発見、普段見ることのない発掘調査の裏側を「発掘新聞」でお伝えしていきます！（城門記者）

【告知】

昨年度掘った遺跡を大紹介！「発掘速報展2013」開催決定！
 7月17日～9月29日まで

ハウス合体！物語

トラックで運び……
クレーンで吊る！



合わせてつなぎ目を固定！



ハウス合体完了！！



「現場にオタマジャクシ！」

先日、みやこ町下伊良原竹の内遺跡近くの小川でヤマアカガエルのオタマジャクシが発見された。現場はダム建設予定地にあたり沈んでしまいうため、専門家により別の場所で無事保護されている。ヤマアカガエルは、昔はよく見られたものの、現在は福岡県では絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。発見した新原正典調査指導員の話「初めはサンショウウオかと思っただけだったが、違っていた（照れ）。でも、貴重な種が保護されてよかった。」



無事保護されたオタマジャクシ達